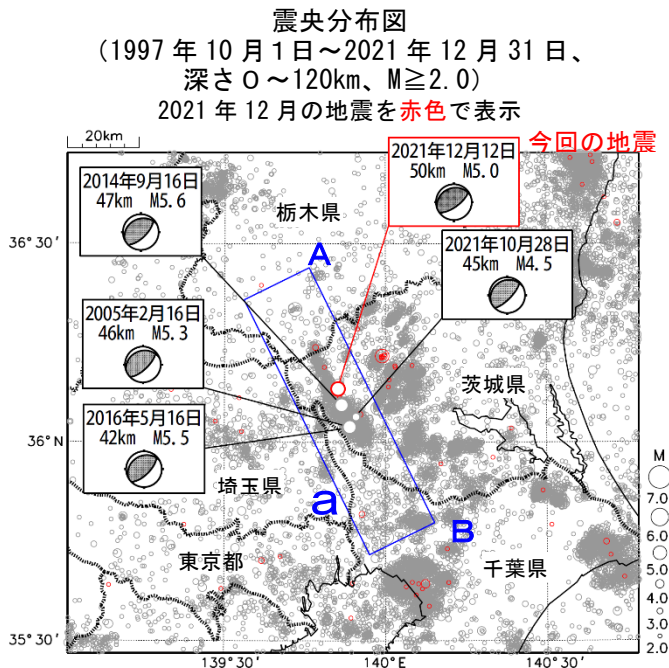
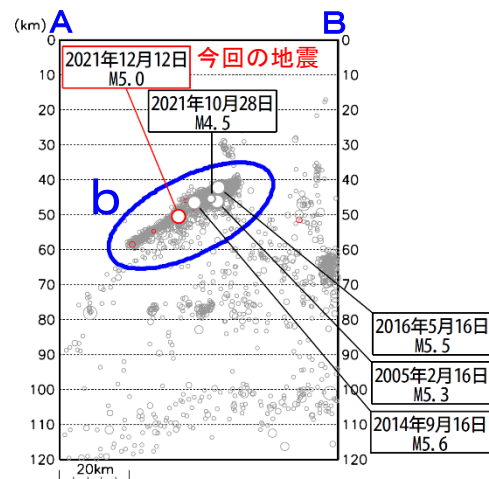


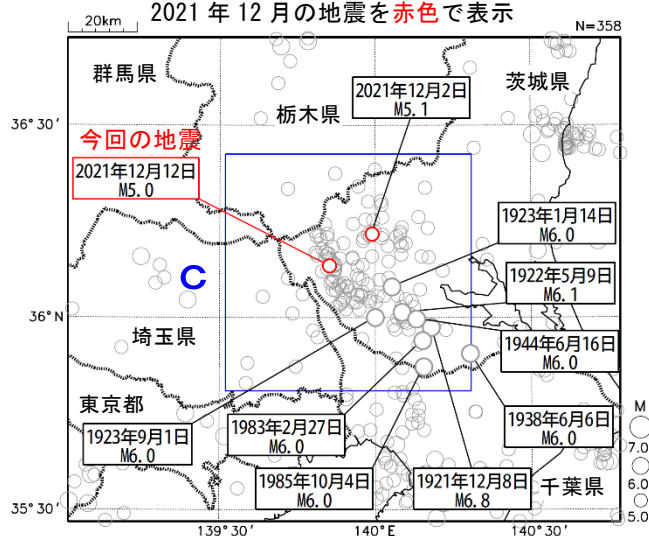
12月12日 茨城県南部の地震



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2021年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2021年12月の地震を赤色で表示

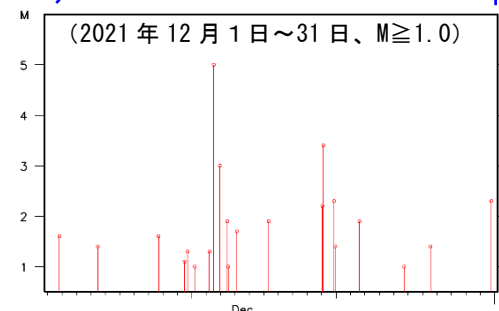
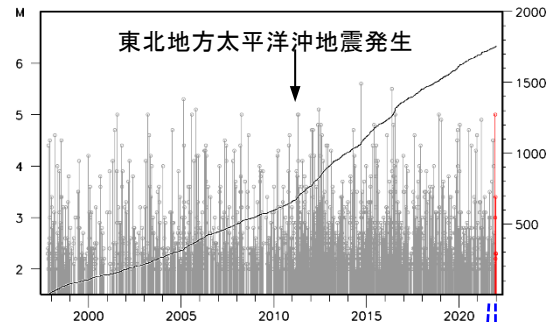


2021年12月12日12時30分に茨城県南部の深さ50kmで $M5.0$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が北北西～南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は活動が活発な領域で、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動がより活発になった。最近では2021年10月28日に $M4.5$ の地震（最大震度4）が発生した。また、2014年9月16日に $M5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者10人、住家一部破損1,060棟等の被害を生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

